

中央放射線室

新病院が稼働後相当程度の時間が経過し、次年度以降さらなる将来計画が遂行される見通しとなっている。その遂行のために良好な経営状況の維持と次世代の人材確保、教育が求められる。その中で中央部門たる放射線科の責務は小さくなく特に高額な投資を必要とする機器装置の維持、管理、質の向上を高い費用対効果のもとに行うための知識および技術の研鑽が求められると考えており、その実行のために具体的方策をすすめる。

MRは前年度比96%と減少した。CTは101%と前年同程度、320列ADCCTは前年度比106%と微増した。CT及びMRによる心臓検査は前年度比92%と減少した。

血管造影室検査件数は前年度と同等、PCIは92%と減少した。心臓血管外科による大動脈ステントグラフト術は25件であった。

放射線治療年間新規症例数は147件であった。診療体制が岐阜大学とより密接になったことにより安定した治療件数を確保できるようになったと思われる。核医学部門はアイソトープ検査、PETともに前年度比106%と微増した。しかし検査枠、件数ともに装置の影響が強く、その点を考慮すれば安定した稼働体制と考えられる。

医師の診療体制においては全断層検査、核医学検査において即時の読影体制を維持できている。放射線治療部門は岐阜大学の非常勤体制への転換が順調に推移したため現状では質、量ともに安定した状況となっている。引き続き体制の維持と治療部門への投資、人材確保が進むよう努力する。

放射線室BSCにおいては、法人ビジョンにあわせて計画、活動した。

その初年度の成果として、ES/CS委員会は患者満足度向上、接遇の強化、魅力的な職場づくりのために活動した。患者待合室に“月刊まつなみ”の掲示などにより患者満足度は南館、北館いずれも前年度を上回った。接遇改善のため、委員会が中心となり研修会を実施。魅力的職場づくりについては、さまざまな活動を通して、最終的にES向上を目指している。結果、すべてにおいて目標達成した。

QC委員会は、南館・北館CTでの検査待ち時間短縮及び効率的機器稼働の上昇を挙げ、看護部との協業として取り組んだ。結果、検査の振り分け、予約枠の変更等の適切な機器稼働に努めた結果、北館CTの待ち時間は若干短縮できた。予約枠の変更により、放射線科紹介件数の増加も得られた。

医療安全委員会は医療安全の情報共有、ヒヤリハット提出の促進、医療事故削減を目標に活動した。あわせてRCA分析、KYT活動もおこなった。情報共有、ヒヤリハット提出は全員達成したが、医療事故は若干増加した。

教育委員会は学術研鑽として、勉強会、認定取得促進、学会等発表促進、読影補助業務促進について活動した。勉強会は業務との兼ね合いの中、出席率向上に取り組んだ。認定取得は室内での認識が高まり多くの取得者を得た。学会等の発表は、委員が率先垂範した。読影補助業務は現在技師単独で行っている。全員参加し、カンファランス等実施し研鑽に励んでいる。

感染対策委員会は感染対策として、職員の手指衛生習慣の定着を目標とした。手指消毒液消費量を目安に行い、3月期のインフルエンザ流行時に、最大使用量を記録するなど感染対策意識向上に貢献した。

【構成】

総合病院部門

人間ドック健診センター部門

計2部門

【人員体制】

・放射線科

放射線科常勤医師 6名（うち5名診断専門医）

非常勤医師 3名（うち2名放射線治療）

計9名

部長2名、副部長3名、医員1名

・放射線室

診療放射線技師 28名

事務（パートを含）4名

計32名

【認定資格リスト】

＜施設認定＞

- ・専門医修練認定施設 (日本医学放射線学会)
(日本 I V R 学会)
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定
(人間ドック・総合病院)
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・Ai 施行認定施設 「A」 (日本診療放射線技師会)
(日本オートプシーイメージング学会)

＜個人認定＞

- ・放射線診断専門医
伊原昇、福田千春、高杉美絵子、
竹田太郎、大河内慶行
(日本医学放射線学会)
- ・放射線科専門医研修指導者
伊原昇、福田千春、竹田太郎
(日本医学放射線学会)
- ・IVR 専門医
伊原昇 (日本 IVR 学会)
- ・日本核医学会専門医
大河内慶行 (日本核医学会)
- ・PET 核医学認定医
伊原昇 (日本核医学会)
- ・検診マンモグラフィ読影医師
福田千春、高杉美絵子
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・第 1 種放射線取扱主任者
小田雄亮、高村菜月、山村亮太
(文部科学省)
- ・検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師
山田真梨、乗松夏美、春日井美波、若井信悟、
鵜飼ひと美、高村菜月
竹中有美、伊藤早紀
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・胃がん検診専門技師
石原勲矢、山田真梨、若井信悟
(日本消化器がん検診学会)
- ・胃がん X 線検診技術部門 B 資格
杉山智一、乗松夏美、春日井美波
寺倉正祥、若井信悟、鵜飼ひと美
野村貴紀
(日本消化器がん検診精度管理評価機構)

- ・胃がん X 線検診読影部門 B 資格
石原勲矢、寺倉正祥、若井信悟
(日本消化器がん検診精度管理評価機構)
- ・放射線機器管理士
福田武、加藤聖也、高木大輔、
小田雄亮、高村菜月、野村貴紀
伊藤早紀
(日本診療放射線技師会)
- ・放射線管理士
福田武、加藤聖也、小寺史浩、
高木大輔、小田雄亮、高村菜月、
野村貴紀、伊藤早紀
(日本診療放射線技師会)
- ・医療画像情報精度管理士
福田武、小田雄亮、高村菜月、
野村貴紀
(日本診療放射線技師会)
- ・医療情報技師
高村菜月 (日本医療情報学会)
- ・肺がん C T 検診認定技師
磯谷祐 (日本 C T 検診学会)
- ・救急撮影認定技師
田中秀和
(日本救急撮影技師認定機構)
- ・臨床実習指導教員
片桐淳夫、福田武、田中秀和、
小田雄亮
(日本診療放射線技師会)
- ・Ai 認定診療放射線技師
田中秀和、磯谷祐
(日本診療放射線技師会)
- ・X 線 CT 認定技師
磯谷祐、小田雄亮
(日本 X 線 CT 専門技師認定機構)
- ・超音波検査士
若井信悟 (日本超音波医学会)

【学術活動】

- ①発表：山村 亮太 (2018/05/17)
「肘関節の撮影法」
第 53 回岐阜地域画像研究会
- ②講演：若井 信悟 (2018/08/18)
「胃 X 線検査での良好なコミュニケーションの
構築を目指して“ある一つの考え方”」
第 45 回岐阜県消化器画像研究会

- ③発表：杉山 智一（2018/08/25）
「シンポジウム 胸椎撮影法」
第 11 回岐阜県 X 線撮影技術読影研究会
- ④発表：福田 武（2018/09/22）
「Web による CT、MRI 検査予約システム導入から 3 年 紹介検査患者数の動向について」
第 43 回日本診療放射線技師学術大会
- ⑤発表：若井 信悟（2018/09/23）
「原発乳癌と診断された転移性胃癌の一例」
第 43 回日本診療放射線技師学術大会
- ⑥発表：加藤 聖也（2018/10/21）
「ハイブリッド手術室の稼働状況の報告」
第 34 回岐阜県病院協会医学会
- ⑦発表：高木 大輔（2018/10/21）
「条件付き MRI 対応ペースメーカーの検査状況と運用方法の検討」
第 34 回岐阜県病院協会医学会
- ⑧発表：野村 貴紀（2018/10/21）
「放射線科 RCA 委員会における医療安全の意識向上を目指した活動報告」
第 34 回岐阜県病院協会医学会
- ⑨発表：磯谷 祐（2018/10/21）
「バランススコアカードを用いた教育委員会活動の初期的検討」
第 34 回岐阜県病院協会医学会
- ⑩発表：萩野 英俊（2018/10/27）
「職員教育について」
第 29 回 VHJ 研究会 職員交流研修会
- ⑪発表：高木 大輔（2018/10/27）
「当院における MRI 対応埋込み型デバイス患者のワークフローの検討」
第 5 回 GUMS 学術フォーラム
- ⑫発表：田中 秀和（2018/10/28）
「医療の質向上に向けたスタッフ教育」
第 32 回岐阜県診療放射線技師学術大会
- ⑬発表：若井 信悟（2018/12/01）
「検診を契機に発見された転移性胃癌の一例」
第 48 回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会
- ⑭発表：若井 信悟（2019/02/16）
「医療被ばく低減施設認定に向けて—経過報告—」
第 46 回消化器画像研究会
- ⑮発表：山村 亮太（2019/03/02）
「当院の血管造影室における放射線技師の役割」
第 49 回岐阜県血管造影技術研究会

- ⑯発表：磯谷 祐（2019/03/09）
「^{99m}Tc-メツケル憩室シンチ」
第 53 回核医学談話会

【実績】

総合病院 / クリニック外来	H28 年度	H29 年度	H30 年度
骨一般	41,508	41,884	41,485
CT	22,912	23,379	23,669
(紹介)	(1,518)	(1,505)	(1,551)
MR	8,696	9,035	8,901
(紹介)	(1,784)	(2,080)	(2,122)
RI	558	593	640
(紹介)	(13)	(24)	25
PET	234	244	250
(紹介)	(29)	(24)	(14)
IVR (血管造影等)	257	213	239
心カテ	1,259	1,132	999
放射線治療	138	162	147
Ai (オートプシーイメージング)	19	39	12

人間ドック健診センター	H28 年度	H29 年度	H30 年度
X 線撮影	8,268	8,447	8,509
骨塩定量	4,334	4,556	4,560
胃透視	3,809	3,787	3,782
CT	1,551	1,477	1,454
乳房撮影	1,744	1,816	1,709
MR	685	692	637

(件数)

〔文責：伊原 昇・福田 武〕